

第15回 岐阜文学散歩タウンウォッチング 平成22年7月3日(土)

『明治22年・東海道線全通・正岡子規 岐阜へ!』

主催：ぎふまちづくり団体交流会、岐阜市、
 (財)岐阜市にぎわいまち公社
 後援：ぎふまちづくりセンター、
 岐阜市教育委員会
 協力：徹明・華陽・加納東・加納西
 自治会連合会、加納まちづくり会



講師：大野鶴士先生

- 連句・俳句インストラクター
- 岐阜県連句協会理事
- 獅子門道統41世
- 岐阜市芸術文化奨励賞受賞
- 著書『連句…学びから遊びへ!』他

明治22年の7月1日は、岐阜市制誕生と東海道線が全線開通するという大きな変化がありました。また、その3日後の7月4日には正岡子規が、東海道線を利用して帰省途中に岐阜を訪れるというドラマティックな出来事もありました。当時の様子を獅子門道統41世であり、鉄道にも詳しい大野鶴士先生に文学的視点から紐解いていただき、鉄道や岐阜駅の変遷についてもお話し頂きました。

講義後のタウンウォッチングは雨天により中止となった為、講義第2部として下記資料の写真などを用いて詳しい説明をルート図に沿って『つもりウォッチング』と題して、引き続き大野先生に行って頂きました。

参加者からは「とても分かり易く楽しかったです」「子規と岐阜の繋がり、興味深く拝聴しました」「歴史的考察が良かった」「『つもりウォッチング』が楽しかった」などの感想が寄せられ、また大野先生の文学だけでなく鉄道に対する熱い思いも垣間見え、岐阜駅の変遷や正岡子規について楽しく学ぶことができました。

<岐阜駅物語より抜粋>

2代目岐阜駅 (東側)

2代目岐阜駅 (西側)

歩行者デッキより2代目岐阜駅跡を望む

歩行者デッキより現在の岐阜駅を望む

<岐阜市史より抜粋>

初代岐阜駅 (版画)

現在の初代岐阜駅周辺

旧東海道線跡 (北→南)

旧東海道線跡 (南→北)

1968年1月当時のJR高架下

現在のJR高架下周辺

亀姫の墓 (門外)

亀姫の墓 (門内)

雨天の為、第2部もあった充実の講義

ぎふしまちなか歩きマップ (岐阜市の「まちあるきマップ」を作る実行委員会)

講義の最後に記念の集合写真